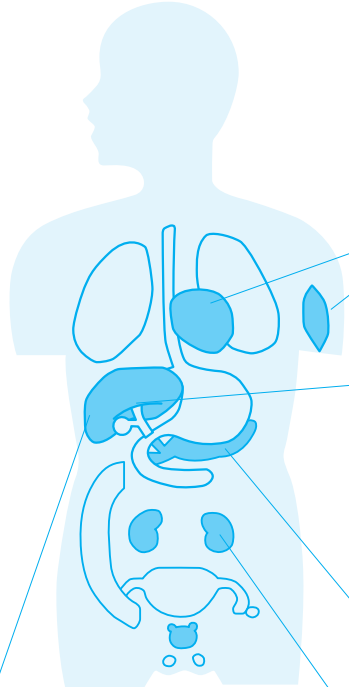


検査内容のご説明



| 検査項目 | 検査内容の説明 | |
|------|---------|---|
| 全身 | 総蛋白 | 血清中の蛋白は、大きくアルブミンとグロブリンに分けられ、2つの蛋白の比(A/G比)や、どの成分が増えたり減ったりしているかをみることで全身の健康状態や病気の有無を知ることができます。 |
| | アルブミン | |
| | A / G 比 | |

| | | |
|-----------|-----|--------------------------------------|
| 心臓 骨格筋 | C K | 心筋や骨格筋の状態を知ることができます。激しい運動の後では高くなります。 |
|-----------|-----|--------------------------------------|

| | | |
|----|-------------------|--|
| 肝臓 | 総ビリルビン 直接ビリルビン | 黄疸の有無や種類を知ることができます。 |
| | AST(GOT) | 肝細胞が炎症を起こしたり壊れたりすると細胞内からこれらの酵素が出てきます。これらの酵素の量から肝細胞の状態を知ることができます。 |
| | ALT(GPT) | |
| 胆臓 | A L P | 肝臓、胆道、骨の状態を知ることができます。成長期には高くなります。 |
| | L A P | 胆管の状態を知ることができます。 |
| | γ-G T | 肝臓、胆道の状態を知ることができます。薬剤性肝障害やアルコール性肝障害の指標となります。 |
| 胆管 | コリンエステラーゼ | 肝臓で作られる酵素で、肝臓の状態を知ることができます。 |
| | L D | 肝臓、心臓、肺、血液、骨格筋に含まれ、これらの状態を知ることができます。妊娠により高値となることもあります。 |

| | | |
|--------|----------|-----------------------------|
| ウイルス検査 | H B s 抗原 | B型肝炎の感染状態や感染力の有無を知ることができます。 |
| | H B s 抗体 | |
| | H C V 抗体 | C型肝炎の感染状態を知ることができます。 |

| | | |
|----|-------|----------------------|
| 膵臓 | アミラーゼ | 膵臓、唾液腺の状態を知ることができます。 |
| | リパーゼ | 膵臓の状態を知ることができます。 |

| | | |
|----|---------|---------------------|
| 貧血 | 鉄 (Fe) | 貧血の有無や種類を知ることができます。 |
| | T I B C | |
| | U I B C | |

| | | |
|----|--------|--|
| 腎臓 | 尿素窒素 | いずれも腎臓から排泄される老廃物です。体内に残ったこれら老廃物の量から腎臓の状態を知ることができます。尿酸は痛風の指標ともなります。 |
| | クレアチニン | |
| | 尿酸 | |

| | | |
|----|-------|------------------------|
| 炎症 | C R P | 炎症性疾患の有無や程度を知ることができます。 |
|----|-------|------------------------|

| | | |
|-----|-----------|---|
| 糖指標 | 血糖 | 血液中のブドウ糖の量から、糖尿病の有無を調べます。食後の検査では高くなります。 |
| | ヘモグロビンA1c | 1~2ヶ月前の血糖の状態を知ることができます。 |

| | | |
|--------|----------------------------------|--|
| リウマチ | R F | リウマチの有無を知ることができます。 |
| 末梢血液一般 | 白血球数 白血球分類 | 細菌やウイルスが体内に入ってきた時に変動するので、感染の有無がわかります。妊娠により高値となることもあります。分類から変動する細胞種類を知ることができます。 |
| | 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット 網赤血球数 | 貧血の有無や種類を知ることができます。 |
| | 血小板数 | 止血の働きをします。出血の際、血液が止まるかどうかを知ることができます。 |
| 便Hb | 便中ヒトヘモグロビン | 便中のヘモグロビンを検出することで、消化管大腸内出血を知ることができます。 |

| | | |
|-----|--------|---|
| 電解質 | ナトリウム | 水分やミネラルのバランスで栄養状態や腎臓の状態を知ることができます。カルシウム (Ca) や無機リンでは骨の状態や副甲状腺の状態も知ることができます。また、利尿剤を服用している時には、カリウム (K) やマグネシウムが低くなる場合があります。 |
| | クロール | |
| | カリウム | |
| | カルシウム | |
| | 無機リン | |
| | マグネシウム | |

| | | |
|----|-----------|---|
| 脂質 | 総コレステロール | LDL-Cは血管壁に溜り動脈硬化や心筋梗塞発症の危険因子とされ「悪玉コレステロール」、HDL-Cは溜まったLDL-Cを取り除く「善玉コレステロール」と呼ばれています。2つのバランスや全体の量 (総コレステロール)、中性脂肪等から、上記疾患の有無や程度を知ることができます。中性脂肪は食後の検査では高くなります。 |
| | 中性脂肪 | |
| | H D L - C | |
| | L D L - C | |